

環境行動計画（エンドレス グリーン プログラム 2021）の実績と自己評価

○：2021年度目標達成、△：2021年度目標未達成（達成率90%以上）、×：2021年度目標未達成（達成率90%未満）

| 環境テーマ            | 重点テーマ             | 管理指標（KPI）   | 対象範囲                         | 2019実績         | 2020実績             | 2021目標     | 2021実績         | 自己評価            | 該当ページ  |   |  |              |
|------------------|-------------------|---|------------------------------|----------------|--------------------|------------|----------------|-----------------|--|---|--|--------------|
| 総合               | 商品・サービス           | 環境を切り口にした商品・サービスを開発・販売し、環境と企業収益の両立を推進                                     | 環境貢献事業の売上高                   | グループ           | 12,277億円           | 12,564億円   | 14,000億円       | <b>13,969億円</b> | △  | 環境配慮型建築や環境エネルギー事業で取り組みが進み、2021年度の環境貢献型事業の売上高は13,969億円（前年度比11%増）となりましたが、目標を達成することができませんでした。今後も、事業活動で得たノウハウを蓄積・共有し、環境に配慮した商品・サービスとして展開することで環境貢献型事業の拡大を目指します。  | P23、151  |              |
| 気候変動の緩和と適応       | 調達                | 主要サプライヤーにおける目標設定および取り組み推進に向けた支援   | 主要サプライヤーの温室効果ガス削減目標設定率（自主目標） | グループ           | 70.6%              | 80.4%      | 90%            | <b>87.7%</b>    | △  | サプライチェーンにおける温室効果ガス排出削減に向けて、サプライヤーと協働して、脱炭素ワーキンググループや脱炭素タイアログを実施。目標設定や目標レベルの向上について、考え方を共有してきましたが、2021年度の主要サプライヤーにおける目標設定率は87.7%となり、目標を達成することができませんでした。今後は、サプライヤーの温室効果ガス排出削減目標レベルの向上に向けた対話を強化するとともに、大和ハウスグループの省エネ、再エネソリューションを活用し、サプライヤーの温室効果ガス排出削減目標の達成を目指します。  | P029、033、155   |              |
|                  | 事業活動              | 新築施設のZEB化、既存施設の省エネ運用改善および計画的な設備更新の継続<br>再生可能エネルギー（風・太陽・水・バイオマス）による発電事業の拡大 | GHG排出量（売上高あたり）2015年度比        | グループ           | 31.9%削減            | 39.3%削減    | 35%削減          | <b>41.4%削減</b>  | ○  | 各社・各部門における省エネの推進や再生可能エネルギーの利用拡大が進む一方、新型コロナウイルスの収束に伴い、商業施設・リゾート施設・ホテル等では稼働率が上がり、GHG排出量は増加したものの、2021年度のGHG排出量（売上高あたり）は2015年度比41.4%削減、エネルギー効率率は同比1.47倍となり、目標を達成することができました。今後は、太陽光発電システムなど再生可能エネルギーの自社施設への導入や、新しい省エネ技術にも着目し、その効果を検証し、水平展開を進めます。また、ニューノーマルとなったリモートワークによるオフィスの縮小、移動の最小化にも取り組みます。                        | P033   |              |
|                  |                   |   | エネルギー効率（EP100）2015年度比        | グループ           | 1.34倍              | 1.46倍      | 1.4倍           | <b>1.47倍</b>    | ○  |   | P033、168   |              |
|                  |                   |   | 再生エネルギー（RE100）               | グループ           | 0.3%               | 8.5%       | 10%            | <b>18.2%</b>    | ○  | 事務所、展示場、工場、施工現場へのRE100電力の導入に加え、新たに需要家として非化石証書を購入し、自ら使用する電力を再生エネルギー（オフセット）した結果、2021年度の再生エネルギー率は18.2%となり、目標を達成することができました。今後は、グループ内の環境エネルギー事業を活用しながら、2022年度は当社で再生エネルギー率100%、2023年度はグループ全体で再生エネルギー率100%を目指します。  | P033、036、157、159、168   |              |
|                  |                   |   | 再生発電率                        | グループ           | 96%                | 133%       | 100%           | <b>131%</b>     | ○  | グループで取り組んでいるDREAM※プロジェクトにおいて、「DREAM Solar佐賀鳥栖（佐賀県 3MW）」や「DREAM Solar なつみ台Ⅲ（奈良県 2.5 MW）」など、56か所37MWを新たに開発・稼働させました。2021年度末現在、当社グループが発電事業者となる太陽光発電は536MW、風力発電は26MW、水力発電は3MWで、2021年度の再生発電率は131%となり、目標を達成することができました。<br>※D：Daiwa House Group（大和ハウスグループ）、R：Renewable（再生可能）、E：Energy（エネルギー）、A：Asset（資産）、M：Management（管理） | P033、036、157、159、168   |              |
|                  | 商品・サービス           | ZEH・ZEB・グリーンビルディング認証の推進   | 商品の使用によるGHG排出量（面積あたり）2015年度比 | グループ           | 15.3%削減            | 20.9%削減    | 6%削減           | <b>34.9%削減</b>  | ○  | 営業職および設計職向けの提案支援や研修の実施等により、ZEH販売率は63%、ZEB販売率は44.1%と前年度に比べて大幅に伸びました。その結果、商品の使用による温室効果ガス排出量（面積あたり）は2015年度比34.9%削減、目標を達成することができました。今後は、ZEH・ZEB販売率のさらなる拡大と延床面積の多い店舗・事務所用途のB1棟の向上を図り、快適性と省エネ性を両立した住まいや施設の提供に努めます。  | P033、167   |              |
|                  |                   |   | ZEH 販売率                      | 大和ハウス工業        | 41%                | 58%        | 70%            | <b>63%</b>      | △  | 2021年度は請負案件を中心にZEHの推進を継続実施し、さらに分譲案件においてもZEH対応を強化しました。また、ZEH推進に向けた社内キャンペーンの実施や、営業職・設計職に向けZEH研修を行うことでスキルアップを図りました。しかし、太陽光発電の稼働率が伸び悩んだため、2021年度のZEH販売率は63%となり、目標を達成できませんでした。今後は分譲案件についてZEHの推進強化を図り、すべての戸建て住宅においてZEHの普及拡大に努めます。   | P033、037、160   |              |
|                  |                   |   | ZEB 販売率                      | グループ           | 33.4%              | 39.6%      | 40%            | <b>44.1%</b>    | ○  | 社内の営業職および技術職向けの教育や、社外向けのZEBセミナーの開催をオンラインにて実施することでZEB提案を強化しました。その結果、大型物流施設のZEB販売率の向上し、2021年度のZEB販売率は44.1%となり、目標を達成することができました。  | P033、038、160   |              |
|                  |                   |   | グリーンビルディング認証取得率              | 大和ハウス工業        | 4.8%               | 75.5%      | 80%            | <b>91.6%</b>    | ○  | 物流施設において、BELS・CASBEE・LEED認証の取得が進み、2021年度のグリーンビルディング認証率は91.6%となり、目標を達成することができました。今後は全物件での認証取得を目指し、推進してまいります。   | P038、154   |              |
|                  | 自然環境との調和（生物多様性保全） | 調達  | 持続可能な木材調達の推進                 | Sランク木材比率       | グループ               | 94.3%      | 95.1%          | 97%             | <b>94.0%</b>   | △   | 前年度の調査において、Cランク木材の調達先を変更するなど、持続可能性に配慮した木材調達を目指しましたが、ウッドショックの影響により、2021年度のSランク木材比率は94.0%、Cランク木材比率は1.1%となり、目標を達成することができませんでした。今後は、森林破壊ゼロ方針に沿った新たな評価基準によるCランク木材の削減を目指します。 | P046、048、169 |
| 事業活動             |                   | 自社・グループ会社施設における緑化の推進<br>※JHEP、ABINC、SEGES                                 | 緑あふれる※自社施設の開発件数              | グループ           | 7件（累計）             | 8件（累計）     | 9件（累計）         | <b>10件（累計）</b>  | ○  | 当社の研修施設および当社グループの大和リースの商業施設で1件の認証を取得しました。その結果、2021年度の緑あふれる自社施設の開発件数は10件（累計）となり、目標を達成することができました。今後も新しく整備する自社施設においては、十分な緑地を確保しながら、地域の生物多様性保全に貢献していきます。  | P046、170   |              |
|                  |                   |   | サービス施設におけるプラスチック3R活動         | レジ袋購入率 2017年度比 | ロイヤルホームセンター 大和リゾート | 0.7%増加     | 50.6%削減        | 70%削減           | <b>78.0%削減</b>   | ○   | プラスチックの削減に向けて、レジ袋の有料化に伴いレジ袋の要・不要の積極的な声かけを行なった結果、2021年度のレジ袋購入量は2017年度比78.0%削減となり、目標を達成することができました。   | P046         |
| 商品・サービス          |                   | 開発・街づくりにおける緑の保全・創出の推進   | 生物多様性自主基準適合率（開発）             | グループ           | 100%               | 100%       | 100%           | <b>100%</b>     | ○  | 全ての案件において自主基準を遵守した開発・街づくりを行いました。その結果、2021年度の自主基準適合率は100%となり、目標を達成することができました。  | P046   |              |
| 資源循環（長寿命化・廃棄物削減） | 事業活動              | 建設廃棄物における3R活動の推進  | 建設廃棄物排出量（売上高あたり）             | 生産             | グループ               | 61.4kg/百万円 | 61.2kg/百万円     | 62kg/百万円        | <b>57.5kg/百万円</b>  | ○   | 切断した部材の端材を他部門で活用する取り組みを継続的に実施しました。その結果、生産部門における2021年度の建設廃棄物排出量（売上高あたり）は57.5kg/百万円となり、目標を達成することができました。  | P052、174     |
|                  |                   |   | 建設廃棄物排出量（㎡あたり）               | 新築             | グループ               | 18.7kg/㎡   | 21.1kg/㎡       | 19kg/㎡          | <b>20.0kg/㎡</b>  | △   | 非住宅の建設時において廃棄物の削減が進み、新築の施工現場における2021年度の建設廃棄物排出量（㎡あたり）は20.0kg/㎡となり、目標を達成することができました。今後は、分別を徹底した上で、金高くずの有価売却を推進してまいります。   |              |
|                  |                   |   | 建設廃棄物リサイクル率                  | グループ           | 97.1%              | 97.7%      | 97%以上          | <b>97.7%</b>    | ○  | 事業所毎にリサイクル率を見える化するとともに、廃棄物分別の徹底、および廃棄物処理ルートの見直しを継続的に行った結果、2021年度の建設廃棄物リサイクル率は97.7%となり、目標を達成することができました。  |  |              |
|                  |                   |   | 廃プラスチックのリサイクル率               | グループ           | 91.2%              | 91.7%      | 90%以上          | <b>93.4%</b>    | ○  | 廃棄物分別の徹底、および廃棄物処理ルートの見直しにより、2021年度の廃プラスチックのリサイクル率は93.4%となり、目標を達成することができました。   |  |              |
| 水環境保全            | 事業活動              | 水使用量（売上高あたり）2012年度比   | グループ                         | 33.7%削減        | 48.3%削減            | 34%削減      | <b>46.8%削減</b> | ○               | 新型コロナウイルスの収束に伴いリゾート・ホテル事業の回復による水使用量の増加を見込んでいたものの、節水機器の導入による改善を進めたことにより、2021年度の水使用量（売上高あたり）は、2012年度比46.8%削減となり、目標を達成することができました。 | P052、176  |  |              |
|                  | 商品・サービス           | 水リスクの把握と低減<br>自社施設、住宅・建築物の水使用量削減  | 居住用途およびホテルにおける節水器具の採用率       | グループ           | 89.0%              | 96.8%      | 97%            | <b>93.4%</b>    | △  | 住宅や賃貸住宅、ホテル用途の建物において、節水機器の採用を推進しましたが、一部で設定の遅れがあり、2021年度の居住用途およびホテルにおける節水器具の採用率は93.4%となり、目標は達成できませんでしたが、今後は、節水器具の採用を徹底し改善する見込みです。  | P177   |              |
| 化学物質による汚染の防止     | 事業活動              | 生産段階における化学物質の削減   | PRTR排出・移動量（売上高あたり）2012年度比    | グループ           | 56.8%削減            | 63.0%削減    | 57%削減          | <b>69.3%削減</b>  | ○  | 塗料の弱溶剤タイプへの切り替えを継続的に実施するとともに、当社では工法改善による塗料や溶剤量の削減、当社グループの大和リースでは塗料の水性化率の向上、デザインークでは吹き付け塗装から静電塗装への切り替えを実施しました。その結果、2021年度のPRTR排出・移動量（売上高あたり）は2012年度比69.3%削減、VOC排出量（売上高あたり）は2013年度比36.8%削減となり、目標を達成することができました。  | P058、178   |              |
|                  |                   |   | VOC排出量（売上高あたり）2013年度比        | グループ           | 12.5%削減            | 23.7%削減    | 15%削減          | <b>36.8%削減</b>  | ○  |   |  |              |
|                  | 商品・サービス           | 居住系施設における室内空気質のさらなる改善   | 室内空気質自主基準適合率                 | グループ           | 97%                | 96%        | 100%           | <b>96%</b>      | △  | 住宅系以外の一部の物件において、自主基準に適合しなかったため、2021年度の室内空気質自主基準適合率は96%となり、目標を達成することができませんでした。   | P058   |              |
| 環境教育             |                   | 環境経営人材の育成、全社員の環境意識・知識の向上  | eco検定取得者数                    | グループ           | 8,218名             | 11,818名    | 15,000名        | <b>19,033名</b>  | ○  | eco検定の用語集や模擬テストを作成し、Web配信するなど試験対策支援を行ったことにより、2021年度のeco検定取得者数は19,033名となり、目標を達成することができました。   | P026、152   |              |
|                  |                   |   | グリーン購入比率                     | グループ           | 96.1%              | 96.0%      | 95%            | <b>95.6%</b>    | ○  | グループ一体となってグリーン購入を推進した結果、2021年度のグリーン購入比率は95.6%となり、目標を達成することができました。   | P153   |              |